

~~削除する部分は delspan で、追加部分は addspan で指定する。~~

~~数式などのコマンドは $y = ax + b$ のように中括弧でくる。これは delspan も addspan も同様。~~

~~delspan の場合、中括弧を開いた直後で改行するのであれば、コメントマーク % が必要になるっばい。~~

ディスプレイスタイルの数式は、addspan はできるが delspan できない。打消線を入れるには、数式の & で区切られた各辺を strikemath でくる。そのままだと、noproofreadmark が指定されたときに数式全体が消えてくれないので、全体を改めて delspanx (delspan ではない) で囲む。(noproofreadmark を使わない場合は必要ない)

$$\dot{x} = ax + bu \tag{1}$$

$$y = cx \tag{2}$$

$$x_{k+1} = ax_k + bu_k \tag{3}$$

$$y_k = cx_k \tag{4}$$